健康あいしょう21（第5期）（案）に対するパブリックコメントの結果について

貴重なご意見・ご提案をいただき、誠にありがとうございました。
お寄せいただいたご意見・ご提案の内容と、それに対するそれに対する町の考えを取りまとめましたので、お知らせいたします。

1．パブリックコメントの実施状況

（1）意見募集期間：令和6年12月25日～令和7年1月24日

（2）資料閲覧場所：町ホームページ、愛荘町役場行政情報コーナー（愛荘町役場1階／秦荘支所1階）、図書館（愛知川図書館／秦荘図書館）
地域総合センター（長塚／川久保／山川原）、愛荘町社会福祉協議会（愛知川事務所／秦荘事務所）
愛知川公民館、ハーティーセンター秦荘

（3）意見提出者：6人

2．意見の内容と町の考え方

目次			
No.	コメント内容	頁	意見に対する町の考え方
1	第2章施策の展開の後ろに（基本目標別計画）を付け加えては。（P9と統一するため）	－	ご意見のとおり修正します。
第1章　計画の基本的な考え方			
No.	コメント内容	頁	意見に対する町の考え方
2	P7～P8の「施策一覧」のそれぞれの項目にも目次のようなページ数を明記した方が親切だと思う。（P8に「プレコンセプションケア」が初めて出てきますが、なぜ脚注の説明がないだろうと思ったのですが、P24に具体的に出ているので、参照ページ数が明記されていればすぐに確認できたと思ったから）	－	ご意見のとおり修正します。
第2章　施策の展開（基本目標別計画）			
No.	コメント内容	頁	意見に対する町の考え方
3	基本目標1　②身体活動・運動について、このことは大変大切であり、私は毎日進めるものとして、次の2つをすすめる。 ①毎日10分のラジオ体操を行う。毎日10分、ラジオ体操をするだけで身体の血流はよくなる。以前出張でいった広島平和記念資料館のまわりでは、毎朝6時30分になったら、自主的に集まられて大きな輪になり、ラジオ体操をしていた。皆さん、集まって来られるのが楽しみであり、いきいきとされていた。夏休みのラジオ体操は、以前は子ども会、小学生が夏休みの習慣を正しくするためにしていたが、今は自治会主催で子どもの集まりよりも年配の方の集まりが多く、熱心に来られていた。夏だけではなく、1年中続けられると大変良いと思った。夏は外で冬とか雨の日は公民館の屋内ですると1日のけじめがつき、大変良いと思う。 ②毎日20分、歩きましょう。ラジオ体操だけでは不十分なので、毎日20分、ウォーキングをすすめる。難しい場合、自宅の中での足踏みでもいいと思う。 以上の2つを具体的に掲げ、毎日実践すれば、愛荘町の健康寿命は延びると思うので、計画に盛り込むように提案する。	12	ご意見のとおり、住民一人ひとりの継続的な運動習慣は健康づくりにつながるものと考えています。運動の方法はそれぞれに適したものがあると考えられますので、具体的な実施方法までは記載しませんが、P32の「健康になれる地域づくりの推進」の中に愛荘町のオリジナル体操として推進している「びんてまり体操」と「ラジオ体操」を例示として追加します。
4	P17のフッ化物洗口の脚注について、「1分間」ではなく、「30秒（5歳児：低濃度で毎日）または1分間（小中学生：高濃度で週1回）」の方が良い。	17	ご意見のとおり修正します。
5	健康あいしょう21（第5期）を部分的に見ました。 P29のつながることで健康になれる地域コミュニティづくりのアンケート結果で、困っている人を見守り、支え合うことが48.1%で最も多い結果になってそのとおりではあるけど、個人的に困っているのに助けてもらえなかった時があり、苦しい思いをしました。近所に話しても寄りそった意見とちがうことをいわれて心が通っていないと失望しました。あくまでも理想論ですね。	29	健康づくりにおいては、一人ひとりの取組だけでなく、地域の中で一緒に取り組むことや、支え合いの中での取組が効果的であると考えられます。そのため、本計画の推進においては、P30「地域のつながりの醸成」「つながりを深めるための支援」などにおいて、助け合い、支え合いながら健康づくりに取り組むための地域づくりを推進します。
6	とてもわかりやすい計画だと思う。日々、住民の健康増進に尽力いただきありがたい。防災についての視点が書かれていないが、災害が多い今日、健康という切り口からの取組等計画に挙げてはどうか。安心・安全な健康づくり・まちづくりにつながると考える。	29	ご意見の通り、これからのまちづくりでは防災などの取組は重要なものであると考えています。本計画では記載しませんが、地域福祉計画など関連計画において、防災に関する取組を位置づけており、これらの取組を推進する際には、健康づくりとの関連も踏まえていきます。
その他			
No.	コメント内容	頁	意見に対する町の考え方
7	健康づくりにおいて、運動習慣を身につけることの大切さが記述されており、そのための基盤をいかに整備するかが行政の責務だと思う。しかし、町においては、2025年4月から「けんこうプール」が通年営業から夏期のみの営業に変更（縮小）される方針であるが、「健康づくり」の観点からみれば明らかな後退（健康づくりに関する町の姿勢のマイナスイメージ）といえる。利用者の減少や経費の高騰などによる赤字の拡大、大規模改修への対応等、厳しい町の財政状況下での苦渋の政策判断と理解するが、他の選択肢がなかったかなどを含め、住民に対する情報提供がほとんどなく、唐突感が否めないと思う。町民にとって大切な施設であり、今後のあり方について利用者・町民を含めた幅広い意見集約、協議・検討が必要ではないか。「けんこうプール」がはたしてきた役割を総括するとともに、夏期のみの営業に変更（縮小）した場合に、健康づくりに関する町の姿勢のマイナスイメージを払拭するためにも、それを保管する町の施策を明示する必要があるのではないかと思う。	－	ご指摘のとおり、「けんこうプール」のプールゾーンの利用は夏季期間のみとなりますが、ジムやスタジオ等のドライドーンの利用は年間通じてお使いいただけます。そのため、今後は、ドライゾーンをフルに活用し、住民の健康づくり・介護予防のための事業をより充実して展開をしていきます。 また、町では、健康づくりのために気軽に運動に取り組め、運動習慣が定着化するよう健康推進アプリ「BIWA-TEKU」の利用促進を行っています。
8	日本のマスコミでは、「2人に1人が癌になる時代である」といつものようにいっているが、果たしてそうか。日本を除いて、先進国ではむしろ減っている状況である。その原因の一つとして、我が国では許可されている食品添加物の種類と量が他の先進国と比べて圧倒的に多いと言われる。この種類と量の多さが、このことの原因であるといわれるがそのことについて全く触れられていないがどうしてか。	－	国立がん研究センター（がん情報サービス）によると、2人に1人ががんになると言われています。ご意見のとおり、食品添加物を含む食品の選び方、摂り方等について引き続き啓発を行っていきます。
9	新型ウイルスに対するワクチンの接種を強く推進してきたが、結果どうだったか。（民生委員までもその推進に協力していた。誰がそれをさせたのか。どのような理由でか。） ①私の知り合いの方だけでも、急に病気の進行が進み、亡くなられた人が数人、急に老化が進んで家から出られなくなった人が何人か、大変重篤な病気になった方が数人、日本に何人といった奇病で亡くなられた方が1人。等々と実際におられるが、私としては全数追跡調査をした方がいいと思うが、今のままで本当にいいのか。接種推進を進めた側として、少なくともその責任はある。②種々の方面から強くすすめられたので、私としてもだいぶ迷ったが、自身がワクチン接種したことを本当に後悔している。mRNAワクチンを接種した方々が、その不安を払拭するための指導を望んでいる人は多いと思うが、そのことなどに対する対応はしないのか。③全国的にみても超過死亡者数がかなり増えている。「高齢化社会」もその根底にあろうが、それだけが原因だとはとても言い切れないほどその数は多い。④現在においてもなおワクチンを接種しているような国は世界の中を探しても我が国だけである。本町として本当にまだそれを推進していく予定なのか。特に母子手帳にも項目があるが、「乳幼児のワクチン接種」に問題はないのか。（「ない」とするなら、先進国ではどのような状況なのか示すべきだろう）⑤良いことだけ、マスコミが言っているから、県が言ってくるから機械的に右にならって、隣の市町がやっているから・・・といったことだけで今まで動いただけか。そうではないのか。住民の不安や十分なインフォームドコンセントは十分とられたのか。今後ともろうとしていかれるつもりはあるのか。⑥mRNAワクチン生物兵器であるといわれるし。遺伝子操作による、将来の身体変化が孫子に及ぶようにも言われているが、②ともからむが、文中に盛り込む必要があると思うがどうか。	－	新型コロナウイルスに対するワクチン接種は、予防接種法に基づき実施しており、接種するかどうかは任意となっています。町では、多様なニーズに対応するべく、医療機関との協力のもと接種機会の確保に努めており、今後も様々な視点からの情報提供に努めます。